

笹神なす栽培暦（暫定版）

阿賀野市
新発田農業普及指導センター

※新潟県栽培基準参照

	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	目標単収 (県基準)
	上中下									
ハウス (半促成)		△	△	△	△	△	△	△	△	10~20トン
露地 早熟			△	△	△	△	△	△	△	6~8トン

■圃場づくり

- ①水田転作や土の固いほ場では碎土化と共にモミガラ堆肥をすき込み、土壌改良を図る(排水と通気性の向上)
- ②元肥は定植10日ほど前の施用が好ましい(肥効安定のためほ場になじませておく)
- ③追肥は開花始期からスタートし、生育をこまめに確認して10~15日おきを目安に施用する(樹勢の維持)

◆推奨施肥例(10aあたり)

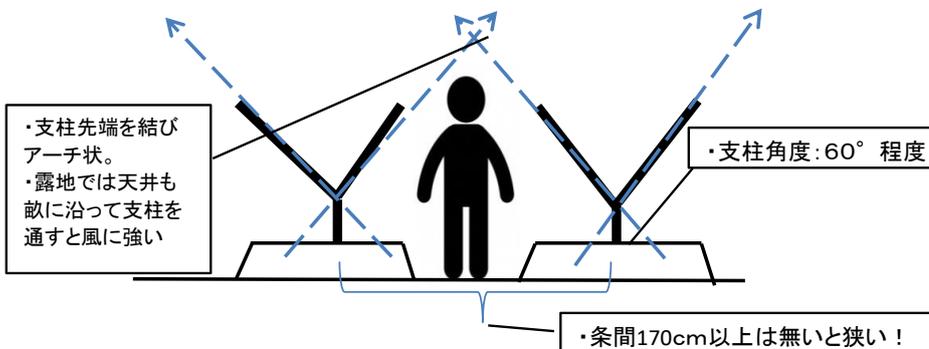
	資材名	施用量(10a当)	成分量			備考
			N	P	K	
元肥	ゆうきの子(ペレット)	3,500kg	-	-	-	土壌の団粒化のために施用推奨
	化成オール14	160kg	22.4	22.4	22.4	◆配合肥料 ※前作により要調整
	過石(粒)	100kg		17.0		◆リン単肥 (根張り向上)
	ケイ酸カリプレミア34	60kg			12.0	◆カリ単肥 (樹体の抵抗力向上)
	苦土炭カル	120kg	-	-	-	◆土壌pH調整
追肥	NK化成E989	100kg	18.0	-	18.0	◆即効性追肥化成 1回15~20kgを基準に分施する
			40.4	39.4	52.4	

※ケイ酸カリの代わりに微量元素を含むミネラル三昧を使用しても可(過石を加減)

※苦土炭カルの代わりに微量元素を含むストロングバランスを使用しても可

■定植~仕立て方

- ・定植は開花間近の苗で遅れず！（露地5月中下旬）
 - ・基本1条植えとし、【畝裾70cm/畝間100cm/株間60cm】で苗数目安は10a/1,000株
 - ・仕立ては支柱を用いてV字の主枝2本仕立てを基本とする
- ※下図参照(樹勢により3本以上でも可)



ペレット堆肥散布のメリット、効果

- ①バラ堆肥に比べて短時間で散布でき、軽作業！
- ②土壌の団粒化を促進する
- ③炭素貯留でCO2の排出を抑制できる→環境により栽培



ブロードキャスタでのペレット堆肥散布

■側枝の切り戻し

- ・側枝(主枝から出る枝)の1本には1度に1果までとなるように以下の通り切り戻す

【切り戻し①】⇒開花したら、主枝に近い1果とその先の葉1枚を残して先を切り落とす

【切り戻し②】⇒収穫時、付け根に近い脇芽1本のみを残して先を切り落とす

※以降、①②を繰り返す

効果として、過剰着果による成り疲れと過繁茂の防止及び肥大促進が図れる。

※その他 高温干ばつ対策には「下葉の除去による蒸散の制限」も効果あるが加減に注意。